

御所 二条生

エリア

猿ヶ辻

京都御所の東北角は鬼門とされ、築地堀の角を欠いて日吉山王社の神のお使いの猿を祀っています。幕末に尊攘派の公家、姉小路公知が何者かに襲われ暗殺された「猿ヶ辻の変」は、このあたりで起こった事件です。
参観／京都御苑内自由

蛤御門

幕末の禁門の変では、御苑一帯が主戦場となり、この戦いに長州藩が敗れたことで幕末動乱の転機となりましたが、その最大の激戦地だったのが蛤御門で、弾傷らしき跡が残っています。



元離宮 二条城

世界文化遺産

二条城は、徳川家康が、京都御所の守護と将軍上洛時の宿所として造営した城で、京都における江戸幕府の権威の象徴でもありました。慶応3(1867)年10月、15代将軍慶喜は、二の丸御殿大広間にて政権を朝廷に返上するという「大政奉還」の意を表明し、徳川の世と武家政権の時代に幕を下ろす歴史的な舞台となりました。
料金／一般600円 中高校生350円 小学生200円
休み／要問合せ 075-841-0096
時間／8:45～16:00(17:00閉城)
平成29年7月・8月は7:00開城
二の丸御殿は8:45から観覧可能
平成29年7月・8月の火曜日は、二の丸御殿と展示・収蔵館は観覧不可

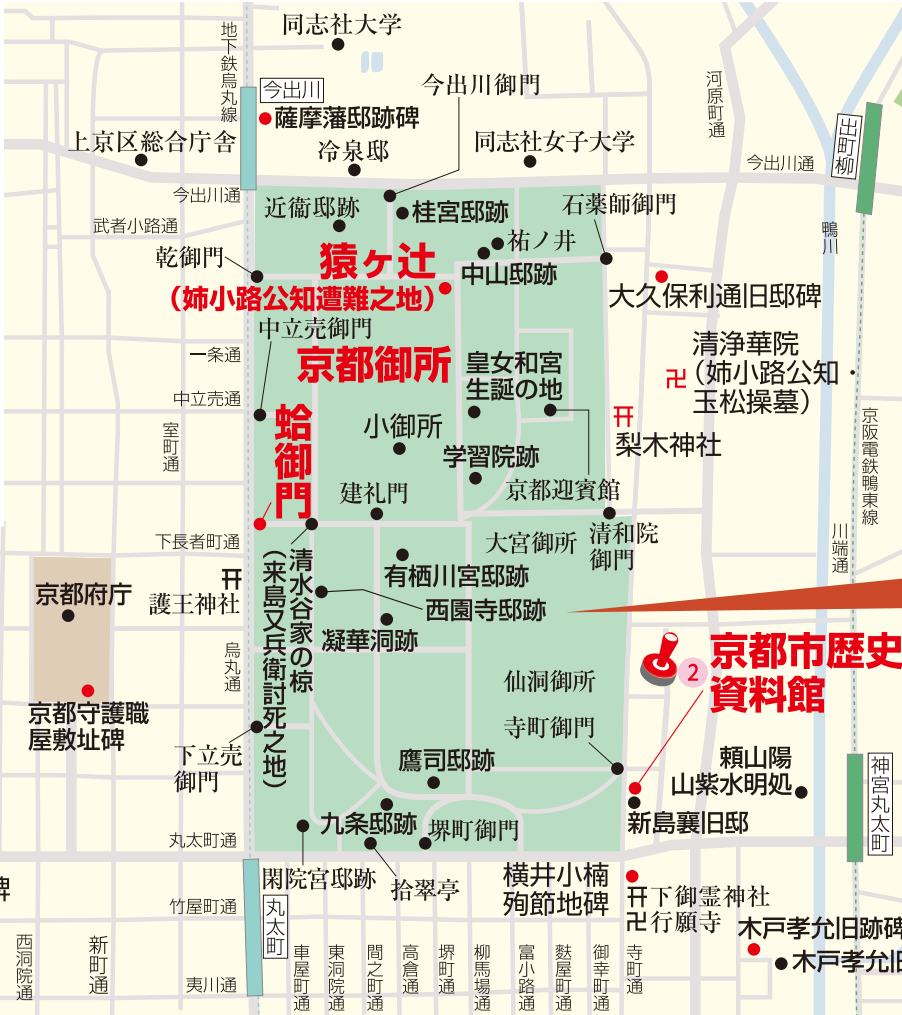
壬生寺

「壬生大念仏狂言」や「節分会」の伝承行事でも有名な律宗大本山・壬生寺は、新選組の隊士たちの兵法修煉場にもなりました。境内の壬生塚には、局長近藤勇の胸像や隊士の墓があり、多くの人が詣でます。



京都御所

現在の京都御所は、1331年に光厳天皇(北朝)が里内裏の一つであった土御門東洞院殿を仮の御所としたことがはじまりで、南北朝合一を経て明治に至るまで約500年間、天皇の住まいでした。歴代天皇が即位した紫宸殿や新政府最初の会議である「小御所会議」の舞台となった小御所などがあります。



京都市歴史資料館

京都市域の歴史資料約9万6千点、図書約5万5千冊等を収蔵し、テーマ展、特別展を開催しているほか、古文書(写真版)や京都の歴史に関する図書の閲覧もできます。重要文化財「岩倉具視関係資料」も当館の収蔵品の一つです。
料金／無料
休み／月曜日、祝休日、年末・年始、展示替期間(年3～4回)
時間／9:00～17:00

■大政奉還150周年記念 特別展「岩倉具視の生きた時代」
■9月29日(金)～平成30年1月23日(火)
TEL075-241-4312



八木家(新選組 壬生屯所旧跡)

新選組が、足かけ3年にわたり、壬生屯所としていました。屋敷内には芹澤鴨暗殺の現場となった奥座敷や、鴨居に残る刀傷があり見学することができます。見学の後には八木家が営む京都鶴屋で屯所餅とお抹茶がいただけます(有料)。

黒谷

エリア



金戒光明寺

文久2(1862)年に、京都守護職に任命された会津藩主松平容保が本陣を構えたところで、その配下にあった新選組も出入りしていたといわれます。境内には、「鳥羽伏見の戦い」など幕末維新にかけて命を落とした会津藩士352名が葬られた「会津藩殉難者墓地」があります。
拝観／志納 ※秋に特別拝観あり(有料)
休み／無休
時間／9:00～16:00

山科

エリア



本圀寺

日蓮宗の大本山です。文久3(1863)年に、勤王派の鳥取藩士22名が、鳥取藩主 池田慶徳の佐幕派であった側近4名を襲撃する事件の舞台となりました(本圀寺事件)。また、水戸藩護山の寺院として水戸党の京都での活動拠点ともなっています。昭和46(1971)年に六条堀川から山科に移転、寺観を整えています。
拝観／境内自由(堂内拝観は志納)
休み／無休
時間／9:00～16:30

